

龍城球鬼



平成26年度を振り返って

平成二十六年春季東部大会は、初戦で裾野に10対3で勝ったが、三回戦で富士宮北に3対7で敗れ県大会出場を逃した。

夏の大会は一回戦から古豪の清水東と対戦、公式戦初先発の工藤が4安打完封の4対0で勝ち幸先良い滑り出しであった。二回戦も強豪の浜北西と対戦、初回に先制されたが直ぐに追いつき、さらに4点追加して序盤から優位に試合を進め、7対4で退けた。強豪校を相手に2試合とも自分たちの持ち味を生かして勝利、その勢いで三回戦はシード校の東海大翔洋に挑んだ。初回に先制され序盤からリードを許す苦しい展開となり、終盤2点を返したが追いつけず、7対5で惜しくも敗れた。夏の県大会は静岡高が優勝し、3年ぶりの甲子園出場を果たした。

新チームの秋季東部大会は、初戦の沼津商、敗者復活戦の誠恵にいずれも見せ場を作れずに敗れた。これで三年連続県大会出場を逃した。チーム力全体の底上げを図るために厳しい冬のトレーニングを乗り越え、力強く成長した新チームの活躍に期待したい。

平成二十七年三月

葦山高校野球部OB会事務局

平成25年度OB会事業報告

(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

1 活動状況(主な行事)

- 平成25年8月10日 平成25年度OB総会
- 平成26年3月10日 野球部年報OB会報「龍城球児」第17号発行
- 平成26年3月23日 卒業生OB会入会式
- 平成26年5月11日 新入部員父母会歓迎会(父母会主催)
- 平成26年6月29日 夏の県大会背番号授与式(野球部主催)

2 会員数及び会費納入状況

(平成26年7月31日現在)

- 名簿搭載 780名
- 実質会員 649名 (うち所在不明・永眠者131名)
- 会費納入
 - 本年度分 236名 996千円
 - 過年度分 4名 16千円

収支決算報告書

収支決算書(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

単位:円

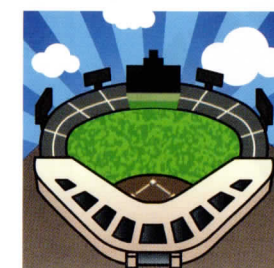
収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越金	500,904		部活動援助等	497,061	バット11本 試合球1D 捕手防具1式 ヘルメット10 シート購入補助金
年会費	1,012,000	240名	コーチ派遣費	50,000	JR東日本練習参加費
預金利息	63	静銀普通預金	会報発行	84,630	沼津印刷 800部
雑収入	10,000	祝儀 長倉スポーツ	卒業生入会式	75,000	図書券 25名分
	20,000	高32回三枝家お礼	慶弔費	25,855	岡本前会長 香典・生花
	30,000	記念誌売却 6冊	会議費	5,000	総会1名分
	9,000	タオル販売 4枚		15,000	父母総会3回
				28,140	監督コーチ会議
			通信費	139,269	別納2、返信用葉書1
			事務費	63,674	コピー、封筒、テープのり他
			HP関係費	26,088	ワダックス更新料
			雑費	12,453	送料、振込料、旅費
			(特別支出)		
			松永怜一氏	70,050	手土産、座布団、車代
			歓迎会		(せせらぎ享自己負担を除く2名分)
			次期繰越金	489,747	内、故久保氏寄附金500,000円
合計	1,581,967		合計	1,581,967	

※送金料は各費目に含む

収支予算書(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

単位:千円

収入の部	26年度予算	25年度決算	支出の部	26年度予算	25年度決算
前期繰越	487	501	部活動援助等	550	547
年会費	1,040	1,012	(コーチ派遣費含む)		
雑収入	20	69	会報発行	87	85
預金利息	0	0	卒業生入会式	78	75
			慶弔費	—	26
			会議費	55	48
			通信費	145	139
			事務費	90	64
			HP関係費	26	26
			雑費	10	12
			特別支出	0	70
			予備費	506	490
			(次期繰越)		
合計	1,547	1,582	合計	1,547	1,582



1 松永怜一さん 来校

平成 26 年 5 月 24 日、沼津東高との定期戦にあわせ、昭和 25 年の春センバツ大会準々決勝で対戦した八幡高校の主将で、後に法政大学野球部監督、ロス五輪監督などを歴任し野球殿堂入りされた松永怜一さんを本校にお招きし、歓迎の行事を行いました。

この日は、センバツ大会に出場、ベンチ入りした本校 OB の野村先輩（高校3回卒）、荒木先輩（高校4回卒）、大原先輩（高校4回卒）、当時の主将鈴木先輩（高校3回卒、故人）の奥様知子様などが集まり、64 年ぶりの再会となりました。

また、静清高校との練習試合を観戦後、本校、沼津東、静清の 3 校の現役選手を激励されました。

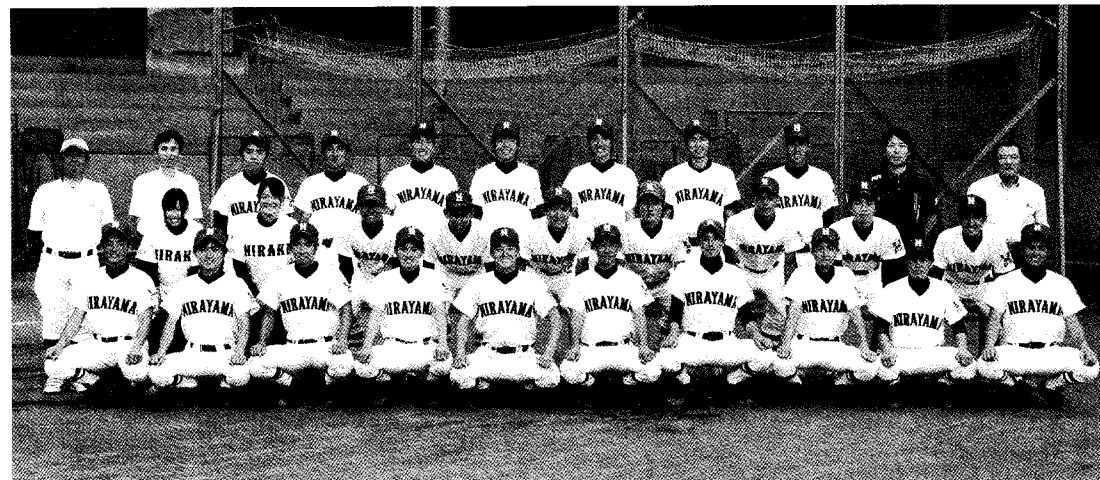


2 OB会役員改選

平成26年8月10日のOB総会において、次のとおり役員改選が行われました。

会 長	豊岡 武士	高校13回	留 任
副 会 長	小出 俊明	高校19回	留 任
副 会 長	大川 明	高校20回	留 任
副 会 長	秋元 俊治	高校21回	留 任
副 会 長	宇田 嘉隆	高校22回	留 任
監 事	大野 文男	高校23回	留 任
監 事	内田 正博	高校25回	留 任

任期:平成26年8月10日から2年間



平成26年の総括と 来春に向けて

部長 早川 敏

現3年生のスタートともいえる秋の大会は、経験不足のチーム事情から前年と同様で、チームの軸も定まらず、東都大会敗退という結果を招きました。しかしその後、選手は二丸となつてトレーニングに励み、OB、父母会、チーム関係者の願いが通じたのか夏の選手権大会では、投打の主軸が揃い総合力で勝ち進み、少しは応援の皆様のご期待に応えら

れたという思いです。選手たちは野球で得た精神力や体力を活かして幾多の先輩たちと同様に文武両道をモットーにし大学入試に挑んでおります。今年もまじめに受験勉強に取り組んでおり、春には素晴らしい進路報告ができるものと信じております。さて現役部員たちですが、今年も経験不足の上に投打の軸も定まらず、秋は東都大会で敗戦しました。ここ数年は、チーム事情から秋は東都敗退、夏に何とか間に合わせるといいう状態が続いております。今年もどういうストーリーが描けるか油断は許されませんが、チーム一丸となつて冬のトレーニングに励んでおり、春には素晴らしい成長した葦山高校野球部を

部 長	早川 敏	
副部長	萩原 季弘	
副部長	美那川 雄一	
監 督	小雀 浩一郎	
守備位	氏 名	出身中
遊撃手	飯山 湧一郎	熱 海
右翼手	石黒 和音	修善寺
中堅手	石和田 将斗	伊東南
投 手	内山 誠也	中 郷
投 手	加藤 航	三島北
一塁手	金井 智久	函 南
一塁手・投手	川口 智貴	大 仁
投 手	絹川 隆彦	御殿場南
投手・遊撃手	工藤 祐二郎	清水南
捕 手	倉田 真佐樹	熱 海
二塁手	小金澤 尚良	大 岡
投 手	清水 迅将	中 郷
遊撃手	城下 陸	北 上
右翼手	高村 真登	三島南
右翼手	土屋 将平	三島南
中堅手	島中 幸暉	葦 山
捕 手	一杉 健太郎	門 野
左翼手	松本 隆太郎	函 南
左翼手	松本 風哉	山 田
捕 手	宮内 康浩	三島南
一塁手	宮崎 準也	葦 山
投 手	門崎 龍之介	北 上
一塁手	八木 滉亮	葦 山
中堅手	矢田 龍馬	大 仁
マネージャー	遠藤 古都	三島南
マネージャー	佐藤 桃歌	天 城



お見せできると思います。今年も何卒、暖かいご指導、ご声援をよろしく願います。



高校67回卒業生

特集

新チーム紹介

葦山高校の野球

主将 情家 康平

三年生が引退し新チームとなりました。秋の大会では、一勝もできず、とても悔しい思いをしました。そこで僕たちは、野球と勉強、両方に力を入れる普通の高校生が私立の強豪校にどうしたら勝てるのか、よく考え、練習について見直したり、短い練習時間を大切にするために間の時間をつめたりしました。しかし先日、完全下校の時間が早まり、更に練習時間が短くなりました。それでも前向きに考え、帰宅後の学習で集中力を持続させることにより練習時間を補っています。また、もうひとつ目標があります。日本一応援されるチームになることです。そのために普段の生活を見直し、日々感謝の気持ちを持って行動しています。

最後に僕たちをいつも支えて下さる方々、本当にありがとうございます。この冬、トレーニングなど一生懸命努力し、春・夏の大会では結果を残せるように頑張ります。これからも応援よろしくお願います。

平成26年度を振り返って

監督 小雀浩郎

OB会の皆様におかれましては日頃より野球部の活動に御協力と、多大なる御支援をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は秋季大会の反省から厳しい冬を乗り越えて臨んだ春季大会で、シード校相手に善戦したものの県大会出場を逃し、不安を抱えたまま夏を迎えました。そんな中キャプテンの負傷欠場という絶望的な状況で、初戦から強豪校と対戦しなければなりません。初戦の清水東はノーシードながら前評判も高く、好投手と強力打線が売りのバランスのとれたチームでした。2回戦の浜北西も力のあるチームで、この2試合を勝てたのは選手の「キャプテンのために」という頑張りによるものであったと思います。3回戦でシード校の東海大翔洋に敗れはしましたが、キャプテンを中心に本当によく頑張りました。最後まで成長したチームであったと思います。夏が終わると新チームは経験も乏しく、人数も少ないためスタートから試練の連続でした。秋季大会では1勝もできず、どうしたら勝てるのかを探りながら期間が過ぎました。しかし、原点に立ち返り「機動力を生かした攻撃野球」と「考える野球」をもう一度整理し、日常生活から見直しました。冬のシーズンに入る直前に

現役チーム表

平成26年8月～11月

試合日	葦高対戦校	葦高対戦校
8/2	7-11(静岡学園)	4-9(世田谷学園)
8/3	4-11(都立富士森)	1-11(都立富士森)
8/6	7-6(浜松開誠館)	5-13(浜松開誠館)
8/9	2-12(相良)	9-8(八王子北)
8/16	2-7(沼津商業)	秋季東部大会1回戦
8/20	3-8(藤枝明誠)	3-2(藤枝明誠)
8/26	6-9(誠恵)	秋季東部大会敗者復活戦
9/6	6-5(沼津城北)	2-8(沼津城北)
9/13	5-1(熱海)	0-9(田方農業)
9/14	5-0(御殿場南)	8-2(沼津工業)
9/15	3-9(静岡市立)	3-10(甲府城西)
9/20	9-2(科学技術)	1-7(科学技術)
9/21	5-4(掛川工業)	9-14(掛川工業)
9/23	5-1(伊豆中央)	5-1(藤枝北)
9/28	7-3(誠恵)	5-11(大磯)
10/11	5-5(桐陽)	0-18(桐陽)
10/12	8-2(焼津水産)	4-5(焼津水産)
10/13	15-3(秦野総合)	9-3(秦野総合)
10/18	2-9(清水西)	6-9(都留)
10/19	3-6(伊豆中央)	三島田方大会
10/25	5-4(磐田南)	0-8(磐田南)
10/26	10-0(田方農業)	三島田方大会
11/3	2-7(三島北)	4-11(三島北)
11/8	5-4(湖西)	5-5(湖西)
11/8	3-5(湖西)	
11/15	12-8(浜松北)	8-16(浜北西)
11/16	2-0(吉原)	三村杯
11/16	1-8(三島南)	三村杯
11/24	11-7(川根)	5-4(川根)

部長	早川 敏	副部長	萩原 季弘
副部長	美那川雄一	監督	小雀浩一郎
守備位置	氏名	学年	出身中学
投手	青木 純平	3	伊東北
内野手	植木 達也	3	清水
内野手	梶原 理玖	3	葦山
外野手	加藤 大起	3	三島南
外野手	小林 洸敬	3	門池
内野手	情家 康平	3	三島北
内野手	鈴木 陸人	3	三島北
外野手	竹本 周平	3	中伊豆
内野手	宮崎 涼介	3	葦山
内野手・投手	山田 隼人	3	伊東北
マネージャー	小澤里佳子	3	長岡
マネージャー	鈴木 理乃	3	清水南
マネージャー	山本 千夏	3	中郷
外野手	石川 楓季	2	三島南
投手・内野手	江塚 大輝	2	三島南
内野手	大沼 泰雅	2	長泉
捕手	加藤 智也	2	清水
投手	佐々木龍之介	2	熱海
内野手	塩谷 修平	2	函南
外野手	塩谷 文武	2	修善寺
捕手	鈴木孝太郎	2	河津
内野手	中井 稜人	2	長岡
外野手	橋本 一樹	2	三島北
外野手	松田 昴樹	2	清水
捕手	森谷 海都	2	伊東北
投手	矢ノ下陵太郎	2	函南
外野手	渡森 勝弥	2	伊東南
マネージャー	菊池 彩里	2	函南東
マネージャー	船越このみ	2	中郷

平成27年度 試合予定表

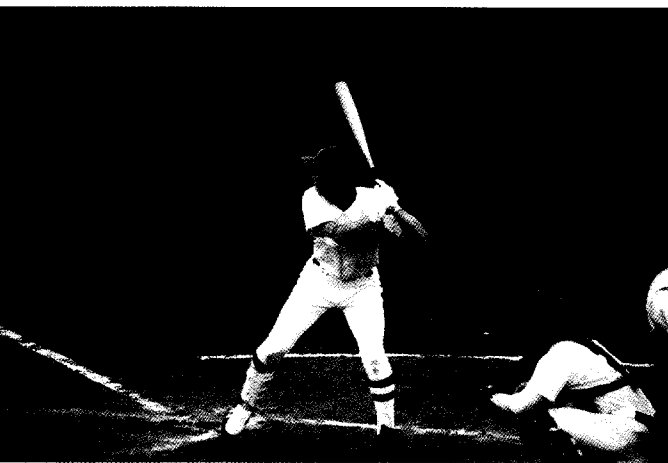
月	日	対戦校	会場	備考	月	日	対戦校	会場	備考
3	8(日)	横須賀	横須賀		17(日)	掛川工業	本校	龍城祭招待試合	
	14(土)	島田商業	島田商業		23(土)	沼津東	沼津東	定期戦	
	15(日)	静岡学園	本校		24(日)	沼津工業	沼津工業		
	21(土)	常葉橋	常葉橋		30(土)	清水西	本校		
	22(日)	身延	身延		31(日)	三島南	三島南	三島南招待試合	
	28(日)			春季東部大会	6	6(土)	正智深谷	本校	
4	12(日)	日大三島	日大三島			7(日)	浜松城北工	浜松城北工	
	18(土)	掛川東	掛川東		13(土)	磐田南	磐田南	田方地区大会	
	19(日)	静岡大成	静岡大成		14(日)	新城東	新城東		
	25(土)	富岳館	富岳館		20(土)	富士宮東	富士宮東		
	26(日)	川根野	川根野		21(日)	富士東	富士東	太スタジアム	
	29(土)	清水桜ヶ丘	本校		27(土)	三島北	本校		
5	2(土)	静岡農業	静岡農業		28(日)	富士	富士		
	3(日)	御殿場南	御殿場南		7	4(土)	浜松湖南	浜松湖南	
	4(月)	浜松商業	浜松商業			5(日)	清水東	清水東	
	5(火)	浜松工業	浜松工業			10(日)	吉原工業	吉原工業	
	6(水)	小田原	本校						
	10(日)	吉原工業	本校						



感謝

主将 土屋将平

「この仲間と葦高で野球ができて本当によかった。」引退して半年が過ぎようとしている今でもそのように思うことが多々あります。自分たちは三年前、葦高が夏の大会でベスト4まで勝ち上がる姿を見て、葦高の野球に憧れて入学しました。し



かし、実際には勉強との両立や厳しい練習、結果の出ない日々、心が折れそうになったことが何度もありました。そんなとき、この26人の仲間がいたから最後まで諦めず努力し続け、自分の可能性を伸ばすことができました。そしてなにより、どんなときでも応援してくださいました。OB会、地域の方々に本当に感謝しています。夏の大会、その思いをプレーで恩返ししようと思いましたが、それでも埋め尽くされたスタンドから逆にも勇気をもらいました。期待に応えることはできませんでしたが、葦高で野球ができて幸せでした。果たせなかった全国制覇は後輩たちが成し遂げることを信じています。本当にありがとうございます。

戦績表

平成二十六年

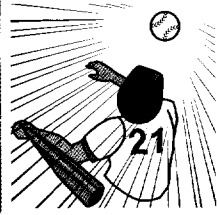
試合日	葦高対戦校	葦高対戦校	備考
3/8	2横須賀	3	
3/9	6湖東	6	
3/16	8静岡学園	5	
3/21	14富士宮西	9	
3/22	2静岡農業	5	
3/24	5(日大三島)	8	
3/26	4(常葉橋)	4	
4/2	10(武蔵越生)	4	
4/5	3(富士宮北)	3	春季東部大会
4/12	13(伊豆中央)	3	
4/13	9(誠恵)	1	
4/19	4(掛川東)	4	
4/26	10(沼津商業)	13	
4/27	4(沼津城北)	13	
4/29	10(清水桜ヶ丘)	10	
4/30	10(吉原工業)	7	
5/4	11(相洋)	2	
5/5	4(御殿場南)	14	
5/6	5(飛龍)	9	
5/11	10(御殿場)	7	
5/11	15(市立沼津)	11	
5/18	7(三島南)	5	
5/24	5(沼津東)	6	
5/24	5(静岡)	6	
5/25	11(沼津工業)	16	
6/1	6(富士市立)	4	
6/1	3(川根)	2	
6/1	12(市立沼津)	4	
6/1	6(富士工業)	7	
6/7	0(正智深谷)	6	
6/8	10(浜松城北)	6	
6/14	12(伊豆中央)	5	
6/15	8(一身延)	5	
6/21	8(富士宮東)	5	
6/22	8(市立沼津)	1	
6/22	1(沼津商業)	0	
6/28	8(三島北)	15	
6/29	9(上三川)	3	
7/5	6(市立沼津)	10	
7/6	0(市立沼津)	10	
7/19	4(清水東)	10	
7/23	4(浜北西)	10	
7/24	7(東海大翔洋)	10	

葦山・工藤 4安打完封

▽1回戦(あしたか第1試合)
清水東 000000000000
葦山 000112000040

【評】着実に得点を重ねた葦山が、清水東を退けた。
1点を先制した葦山は5回、情家が左越え三塁打で出塁、工藤の犠打で追加点を挙げた。6回には4安打を集中して突き離れた。投げては公式戦初先発の工藤が4安打完封した。

清水東は9回に2死満塁の好機をつくったが、得点できなかった。



点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
壘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
壘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
打	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
点	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	8	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

振	7	1	1	0	0	10
球	1	1	1	0	0	10
盗	4	3	0	0	1	7
失	5	4	3	0	0	1
併	3	0	0	0	1	7
残	1	1	0	0	1	7



山 がんばれ!!

龍城球児!!

いよいよ夏の大会を迎えます。新チームになり、昨秋、今春と素晴らしい成績が出せなかったのは残念でしたが、昨秋よりチーム力は向上しており、大会に向けて新たな気持ちで戦い抜く所存です。夏の大会はいよいよ近づいてきます。チームは少しずつではありますが、夏を目指し、

先制すると、二回に3点を追加し主導権を握った。三回には服部の本塁打も飛び出した。投手は左腕大津と右腕中村駿の継投。中村駿は4回を6奪三振と実力を見せた。葦山は終盤に追い上げるも、点差を詰め切れなかった。

走・攻・守とも確実に成長しております。大会では、葦高野球部を日頃応援して下さる皆様の期待に応えてくれると信じています。選手たちは、小雀監督の下、心技体、野球を通して学んだ成果を、3年間の集大成として見せてくれるはず。まずは初戦突破です。

「葦山に感謝、静岡に笑顔、日本に感動、世界に平和」これが葦高野球部の合言葉です。

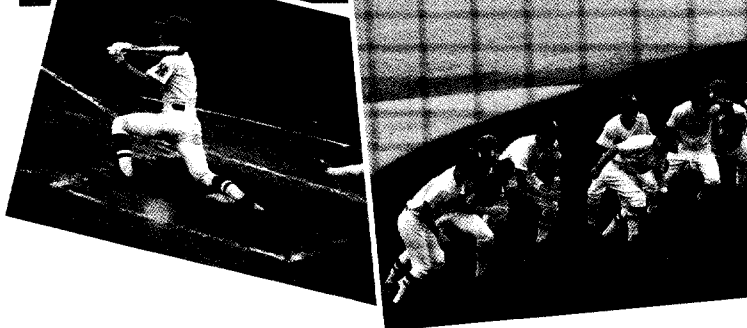
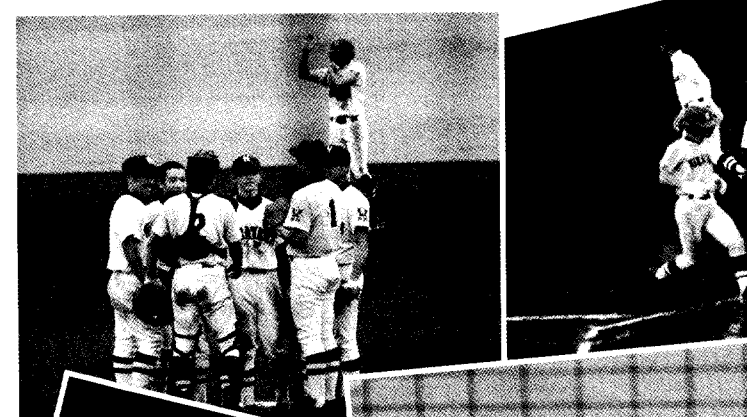
日頃から葦山高校野球部にエールを送ってください。皆様は、深く感謝申し上げます。夏の大会に向けて、さらなる声援をよろしくお願いたします。

（父母会会長 土屋康徳）

点	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
壘	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

点	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	3	2	5	4	4	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
壘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
打	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
点	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	11	12	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

振	10	2	3	2	1	0	6
球	4	5	5	0	2	0	10
盗	4	5	5	0	2	0	10
失	4	5	5	0	2	0	10
併	4	5	5	0	2	0	10
残	1	1	0	0	1	0	7



点	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
壘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
打	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
点	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	13	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

振	2	2	2	0	9
球	2	2	2	0	9
盗	6	3	1	2	0
失	6	3	1	2	0
併	3	1	2	0	5
残	1	1	0	0	5

【葦】工松八穂宮高石門情土城計 3287

【葦】10232106
振球盗失併残
45502010

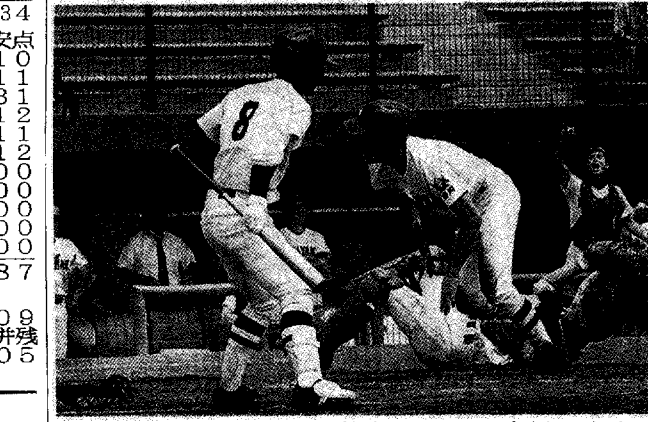
葦山、序盤に大量得点

▽2回戦(草薙第2試合)
浜北西 201000010014
葦山 2400000100x7

【評】葦山が逆転で浜北西を下した。初回に2点を先制された葦山はその裏、2四死球、1安打などで二死満塁とすると、高村の右前適時打で同点とした。二回にも敵足を足掛かりに、長打2本を含む4連打で4点を加えた。先発門崎は要所を締めた。

浜北西は先発鈴木が立ち直ったが、序盤の大量失点が響いた。

【葦】逆転勝ちで3回高村が同点打



浜北西一葦山 1回裏葦山2死満塁、高村の適時打で二走八木(右から2番目)が生還して同点とする一草薙球場

【葦】逆転勝ちで3回高村が同点打
○：逆転勝ちで3回戦進出を決めた葦山。初回に2失点を喫した高村は6番高村。開幕直後に、その裏ですぐさま同点とし、相手に流れを渡さなかった。初回、2死満塁の場面、高村は自信のある球で来るはず」と読んだ。チームで収集したデータでは相手投手の勝負球は直球。それを狙い、初球を迷わず振り抜いた。二走八木も後足を飛ばして本塁に突っ込み、同点とした。「土屋を甲子園に出したくない」と八木。チームの気持ちは一つだ。